

- 日本石炭坑夫組合二瀬友愛會組織準備に伴ふ紛議
- 一、名 稱 製鐵所二瀬出張所
 - 二、所在地 嘉穂郡穂波村
 - 三、事業種類 石炭採掘
 - 四、従業員數 七、二四九名（内職員六二八名）
 - 五、紛議關係人員 約八〇名
 - 六、紛議發生年月日 昭和八年六月三日
 - 七、紛議解決年月日 同 年六月二十五日
 - 八、紛議發生原因

總同盟日本石炭坑夫組合に於ては組合の擴大を圖る爲、製鐵所二瀬出張所炭坑に二瀬友愛會の組織を計劃して、組合員の獲得に努めたる所、約八〇名の賛成者を得たので、近く發會式を舉行せんと準備中、二瀬出張所當局に於ては

労働組合否認の方針の下に、中心人物として先づ三名を六月二日解雇處分に附したのである。

九、經過

組合側に於ては翌三日日本石炭坑夫組合事務所にて組合幹部並に被解雇者其他二十余名參集し對策協議の結果、組合加入を理由とする解雇絕對反對、殘留組合員の身分保證の二要求を決定し、四日組合幹部三名被解雇者を同件して炭坑本事務所にて労働主任と會見、解雇理由の説明と復職を要求したるに對し、當局は業務上の都合に依る解雇なりとて復職を拒絶したのである。

越へて六月十日總同盟九州聯合會會長伊藤卯四郎氏は労働部長吉田友翰氏に會見し、友愛會は所謂戰鬥的組合にあらず労働協調的の組合なるを以つて解雇者を復職せしむると共

